

# 第6学年 学級活動 学習指導案

日時：令和6年11月26日（木）5限

指導者：加賀市立錦城東小学校

T1 辻 啓太 T2 梅田 未希

GT 和田 真由美

場所：6年教室

## 1. 題材名 病気の予防 ～自分で守る、未来の自分～

(2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全

ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成

## 2. 題材の目標

病気の起こり方、病原体が主な要因となって起こる病気の予防、生活行動が主な要因となって起こる病気の予防、喫煙、飲酒、薬物乱用と健康、地域の様々な保健活動の取組について理解し、健全な生活を送るための知識や行動の仕方について考え、自分に合ったより良い解決方法を意思決定して実践しようとする態度を養う。

## 3. 児童の実態と題材設定の理由

### (1) 児童の実態

本学級の児童は、1年生から6年生までずっと単学級で生活をしている。そのため、低学年の頃より男女仲良く、誰とでも協力して活動することができる。しかし、係活動や学級の活動において、自分から進んで行動できる児童が限られており、一部の児童に頼りっぱなしな様子も見られる。低学年の頃より児童の健康課題であるメディアとの付き合い方や生活習慣、運動習慣について保健指導を積み重ねてきた。児童の中に生活習慣を整えることは健康に良いという知識の定着はあるが、自分事として考えたり、実生活でできることを自己選択して行動に移したりする力に課題がある。また、行動に移すことができたとしても、継続して行うことが苦手な児童が多い。

今回の単元で取り扱う「がん」について事前アンケートをした結果、下記のような回答があった。(令和6年9月2日実施 33名) アンケート結果から9割以上の児童が、「がんの学習は健康な生活を送るために重要で役に立つ」と肯定的に考えている。また、「がんは誰でもかかる可能性のある病気である」との質問に8割以上の児童が「正しい」と回答している。さらに予防や早期発見についての質問も項目によってばらつきはあるが、正しく答えた児童が7～9割と多かった。一方で、「日本人の死因の第1位」であることについては誤った回答が多く、「がんになっても生活の質を高めることができる」の質問に対し、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」と否定的な回答をしている児童が6割以上いた。また「自分はがんにならないと思う」と回答している児童も3割いる。このことから「がん」という名前を耳にしたことはあり、ある程度の知識はあるが、身近な問題として捉えている児童は少ないと言える。

事前アンケートの結果

①がんについての以下の質問について、当てはまるものに○を付けてください。

	質問	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない
a	がんの学習は、健康な生活を送るために重要だ。	2 1	1 1	1	0
b	がんの学習は、健康な生活を送るために役に立つ。	2 2	1 0	0	1

②がんについての以下の質問について、当てはまるものに○を付けてください。

	質問	正しい	誤り
a	(ア) がんは誰もがかかる可能性のある病気である。	2 9	4
b	(イ) がんは進行すると、今まで通りの生活ができなくなったり、命を失ったりすることがある。	3 3	0
c	(ウ) がんは日本人の死因の第2位である。	2 4	9
d	(エ) たばこを吸わないこと、バランスよく食事をする、適度な運動をすることなどによって、予防できるがんもある。	3 0	3
e	(オ) 早期発見すれば、がんは治りやすい。	2 6	7
f	(オ) 体の調子が良い場合は、定期的に検診を受けなくても良い。	2	3 1
g	(カ) がんの治療法には手術治療しかない。	1 2	2 1
h	(キ) がんの痛みは我慢するしかない。	6	2 7

③がんについての以下の質問について、当てはまるものに○を付けてください。

	質問	そう思う	どちらかといえ ばそう 思う	どちらかといえ ばそう 思わない	そう思わ ない
a	(ア) 自分はがんにならないと思う。	3	7	1 2	1 1
b	(エ) 将来、たばこは吸わないでいようと思う。	3 0	3	0	0
c	(エ) 日頃から、バランスの良い食事や適度に運動を行うなど健康な体づくりに取り組もうと思う。	1 4	1 9	0	0
d	(オ) がん検診を受けられる年齢になったら、検診を受けようと思う。	1 4	1 6	3	0
e	(カ) がんの治療方法はいくつかあるが、医師が決めるものである。	1 3	8	1 0	2
f	(ク) がんになっても生活の質を高めることができる。	5	7	2 0	1
g	(ケ) がんになっている人も過ごしやすい世の中にした。	1 8	1 3	2	0

h	(コ) がんと健康について、まずは身近な家族から話ろうと思う。	6	1 2	1 2	3
i	(コ) 家族や身近な人が健康であってほしいと思う。	2 7	6	0	0
j	(コ) 長生きをするために、健康な体づくりに取り組もうと思う。	2 3	1 0	0	0

## (2) 題材設定の理由

本単元は、「病気」の発生要因と予防の原理・原則を理解することを通して、健康の維持に活かす習慣や態度を養うものである。病気には、病原体が主な要因となって起こる病気と生活習慣病など生活行動が主な要因となって起こる病気があることを学び、予防策として病原体を体の中に入れないこと、病原体に対するからだの抵抗力を高めること、そして、最終的に望ましい生活習慣を身に付けることが必要である。そのために、児童が自分自身の健康に目を向け、正しく病気を予防し、健康管理することについての意識・意欲を高めることが大切である。また日本人の死亡原因として最も多いがんについて学ぶことにより、より疾病を自分事としてとらえ自分自身で考え意思決定と行動選択できる力を身につけることができると考える。

## (3) 指導について

担任と養護教諭のTTや外部講師を招くことにより児童の知識の定着を図り、より深い学びと自分事としてとらえ生活行動に結びつく動機づけとなるように単元を計画した。学級の児童の仲の良さを生かせるよう、簡単なゲームやロールプレイングを取り入れながら体験的に学べるようにする。また児童にとって身近ではない病気については、資料動画やグラフなどを用いて、理解が深まるようにする。生活習慣病の予防については、乱れた生活習慣を送る架空のモデルを紹介し、生活習慣のどこを見直したらよいか、これまでの学習内容を生かし適切な生活行動を考えさせる。考える場面では、グループトークを取り入れ、話し合うことで自分の考えを整理したり、友達から自分の新しい考えを生み出したりすることができるようにする。自分の考えが出ていない児童も友達からの意見を取り入れることで自分の考えを持つことができる。また関連して、自分自身の生活行動を振り返り、病気の予防のための適切な対策を考えることで、生活行動の改善ができるようにする。児童が、生涯にわたり自分の健康は自分で守り、健康によい生活行動を自ら実践していける力を身につけることができるようにしていく。

## 4. 評価規準

(保健体育領域)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 病気は、病原体、身体の抵抗力、生活行動、環境などが関わりあって起こることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ② 病原体が主な原因となって起こる病気の予防には、病原体の発生源をなくしたり、うつる道筋を断ち切ったりして病原体が体に入	① 病気の予防について、病気の起こり方に関わる事象から課題を見付けている。 ② 病原体が主な原因となって起こる病気の予防について、学習したことを活用して、予防の方法を考えたり、適切な方法を選んだりしている。 ③ 生活行動が主な要因となって	① 病気の予防について、課題の解決に向けての話し合いや、発表などの学習、教科書や資料を調べたり、自分の生活を振り返ったりするなど、自己の健康の保持増進のための学習に進んで取り組もうとしている。

<p>るのを防ぐことや、身体の抵抗力を高めておくことが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>③ 生活行動が主な要因となって起こる病気の予防には、全身を使った運動を日常的に行う、栄養バランスのよい食事をとるなど、健康によい生活習慣を身につける必要があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>④ 喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、健康を損なう原因となることを理解している。</p> <p>⑤ 地域では、人々の病気を予防するためにさまざまな保健活動が行われていることを理解している。</p>	<p>起こる病気の予防について、学習したことを自分の生活と比べたり関連付けたりするなどして適切な解決方法を考えている。</p> <p>④ 喫煙・飲酒が健康を損なう原因となることについて、なぜ健康への影響はあるか考えたことをワークシートに書いたり、友達に説明したりしている。</p>	
---	--	--

(学級活動)

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
日常生活への自己の適応に関する諸課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、健全な生活を送るための知識や行動の仕方を身につけている。	日常生活への自己の適応に関する諸課題を認識し、解決方法などについて話し合い、自分に合ったより良い解決方法を意思決定して実践している。	自己の生活をよりよくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自主的に課題解決に取り組み、他者と信頼し合ってより良い人間関係を形成しようとしている。

5. 指導と評価の計画

(学習の流れ)

時	学習計画	
1	保健体育-①	病気の起こり方
2	保健体育-②	感染症の予防
3	保健体育-③	生活習慣病の予防①
4 5	保健体育-④⑤	飲酒と喫煙の害
6	学級活動-①	生活習慣病の予防② がんについて学ぼう
7	学級活動-②	<b>がん経験者の話を聞き、これからの自分の健康について考えよう。(本時)</b>
8	保健体育-⑥	薬物乱用防止教室 薬物乱用の害と健康
9	保健体育-⑦	地域の保健活動

(保健体育領域)

時	指導計画	○ねらい・学習活動	評価規準		
			知・技	思・判・表	態
1	保健体育 「病気の起こり方」 担任	○病気は、病原体・体の抵抗力・生活行動・環境などがかかわりあって起こることを理解する。 ・かぜをひく原因について考える。 ・かぜの予防方法について考える。 ・病気が起こる原因について考える。 ・今後の生活について考えをまとめる。	①	①	①
2	保健体育 「感染症の予防」 担任	○病原体が主な原因となって起こる病気の予防には病原体が体に入るのを防ぐことや体の抵抗力を高めておくことが必要であることについて理解することができるようにする。また学習したことを活用して、予防の方法を考えたり、具体的な生活行動に結びつけたりして考える。 ・病原体の感染経路について考える。 ・病原体がもとになって起こる病気の予防方法を考える。 ・病気にならないためには、これからどうしたらよいかを考え、まとめる	②	②	
3	保健体育 「生活習慣病の予防①」 担任・養護教諭	○生活行動が主な要因となって起こる病気の予防には健康によい生活習慣を身に付けることが必要であることを理解する。 ・生活習慣病を予防するにはどのような生活をすれば良いか考える。	③	③	
4 5	保健体育 「飲酒と喫煙の害」 担任	○喫煙と飲酒が健康に及ぼす害について理解する。 ・喫煙の健康への影響、長期間にわたる多量の飲酒の害を知る。 ・喫煙・受動喫煙・多量の飲酒ががんにつながる可能性があることを理解する。 ・学習したことをもとに、喫煙・飲酒を勧められたときにどう断るか考え伝えあう。	④	④	
6	保健体育 「薬物乱用の害と健康」 薬物乱用防止教室 担任 外部講師－警察の方	○薬物乱用は、1回の乱用でも死に至ることがあり、乱用を続けると心身の健康に深刻な影響を及ぼすことを理解する。 ・薬物乱用の害、薬物依存について知る。 ・薬のODなど、SNSなどからの間違った情報による市販薬の不適切な使い方	④		

		をする若年者の問題が増えていること、市販薬の間違った使い方も薬物乱用につながっていく可能性があることを理解する。			
7	保健体育 「地域の保健活動」	○地域では、保健に関わるさまざまな活動が行われていることについて理解することができるようにする。 ・学校や地域の保健活動や取り組みについて調べ発表する。 ・保健所や保健センターでは病気を予防するためにさまざまな取組が行われていることを知る。	⑤		

※「主体的に学習に取り組む態度」については、単元全体で評価していく。

(学級活動)

時	指導計画	○ねらい・学習活動	評価規準		
			知・技	思・判・表	態
1	学級活動 「生活習慣病の予防②」 〈がんについて学ぼう〉 養護教諭 担任	○生活習慣病のひとつである、がんについて知る。 ・がんという病気について理解する。 ・がんは日本人の死因の1位であること、発生要因(生活習慣・飲酒・喫煙・感染・遺伝・原因不明)について、初期は症状が出ないがんもあることを知る。 ・がんを予防する方法のひとつとして「がん検診」があることを知る。	○		
2 本 時	学級活動 「生活習慣病の予防③」 〈がんについて学ぼう〉 担任 養護教諭 がん経験者	○がん経験者の話を聞き、これからの自分の健康について考えることができる。		○	○

6. 本時の学習 (学級活動 1/2 時、全体 6/9)

(1) ねらい がん経験者の話を基に、これからの自分の健康について考えることができる。

[思考力、判断力、表現力等]

自己の健康生活をよりよくするために、主体的に自分の生活を見直したり、これからの自身の取り組みを意思決定したりすることができる。

[主体的に学習に取り組む態度]

(2) 準備 前時のワークシート 付箋 (3色)

(3) 展 開

	配時	学習活動及び予想される児童の反応	評価 留意点 (・) ※C→Bの手立て
つかむ	5	<p>1. 梅田先生と前時までの学習を振り返り、本時の学習内容を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がんという病気について勉強しました。</li> <li>・がんになる人がたくさんいることが分かったよ。</li> <li>・ちゃんと治療をすれば治る人もたくさんいるよ</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">がん経験者の話を聞き、これからの自分の健康について考えよう。</div> <p>①がん経験者の方から話を聞く ②がんについて学んだことを、大切な人に伝える手紙を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近にがんに罹患している人をもつ児童がいる可能性や、がん患者の人権に配慮し、正しい知識を伝えることを通して、がんとがん患者のへの偏見や差別をなくすことを念頭において指導する。</li> </ul>
考える・深める	15	<p>2. がん経験者の方から直接話を聞く。</p> <p>○今日は、がんを経験された和田さんに来ていただきました。お話を聞いて、病気にならないために、病気になっても立ち向かうことができるようにするために、今そして将来の自分のためにできることを考えましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病気について、教えてもらえない。情報過多で正しい知識を得ることが難しいこともあった。</li> <li>・まわりの人からの支え、患者の心の動き</li> <li>・病気になってみて分かったこと、気付いたこと。(病気と闘うためには、丈夫な体が必要。健康な体でないと、受けられない治療がある。)</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病気について、正しく理解することは大切だな。</li> <li>・病気になっても前向きに考えて行動できてすごいな、</li> <li>・やっぱり怖いなと思った。だから、自分で気をつけていくことは大事だな。</li> </ul> <p>15</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康であることは、ありがたいことなんだな。</li> </ul> <p>3. 自分の生活を振り返り、健康について考え、グループで交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今、自分たちが健康でいることはとても素晴らしいことだと思うよ。僕は健康のために、バランスの良い食事を心がけているよ。</li> <li>・すごいね。私は好き嫌いをしてしまって、バランスの良い食事になっていないかも。きょうから、少しずつ気をつけたいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がんを経験して感じたこと気づいたことについて、左の四角の中に記載した内容テーマを語っていただく。</li> <li>・3～4人のグループに分ける</li> <li>・健康を保つために、今できていること(青)、これからすぐにやりたい、気をつけたいこと(赤)、将来やりたいこと(黄)の付箋に書き、大きな紙に貼って、共有する。</li> <li>・和田さんと養護教諭にも、グループを回ってもらい、グループに指導助</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康な体でいるために、睡眠時間をしっかりととれるようにしていきたいな。</li> <li>・健康には運動も大切だと思います。学校へは歩いてきているけど、家に帰るとゲームばかりだから、外で動く時間をもっと作りたい。</li> <li>・健康でいるために、大人になってもたばこは吸わないようにしたいです。</li> <li>・子どもは受けられないけど、大人になったら検診を受けたいです。</li> </ul>	<p>言をもらう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>自己の健康生活をよりよくするために、主体的に自分の生活を見直し、これからの自身の取り組みを考えている。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;"> <p>〔思考力、判断力、表現力等〕 付箋、話し合いの様子</p> </div> <p>※グループ交流の付箋を見るように話し、自分ができるようなものを考えさせる。</p>
<p>ふり返る・まとめ</p>	<p>5. 前時と本時の学習内容を生かし大切な人に手紙を書く。</p> <p>○今日の学習から自分が学んだこと、家族に伝えたいことを考えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・僕は、健康でいることは病気にならないためにも大切だし、病気になってからもできる治療が増えることを学んだよ。これから、十分な睡眠時間と、好き嫌いせず野菜を食べることに気をつけようと思うよ。</li> <li>・今は無理だけど、大人になったらがん検診をきちんと受けようと思うよ。お父さん、お母さんもがん検診受けてみてね。健康に気をつけて下さい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の家族（大人）は、将来の大人になってからの自分とつながっていることを意識させる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>これからの自分の健康について考えている。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;"> <p>〔主体的に学習に取り組む態度〕 ワークシート</p> </div>